

「でんきと私」 静岡県立科学技術高等学校 2年 電気工学科 金刺 泉樹

電気は、私たちの暮らしを大きく支えるものです。そして私たちはそれを当たり前のよう
に感じて生活していると思います。現に私もそうでした。

ですが、そのありがたみを私は身をもって体験した出来事があります。それは台風15号で
の出来事です。自分が住んでいる静岡の街では、台風15号の影響で大きな停電がおきまし
た。私が住んでいる静岡市内だけでも約119000戸が被害にあい、深夜から次の日の昼まで
停電しました。夜に停電したということもあり、ほとんど寝て過ごしたので、そこまで苦し
い思いをしたわけではありませんが、朝起きてから停電が直るまでの数時間はとても不便
さを感じました。普段使っている電気が付けられない、冷蔵庫は冷えていない、電子レンジ
も使えない、スマホの充電も出来ない。普段当たり前に行っている事が、いきなりできなく
なったのです。私達は電気を普段から使っています。暗くなったら明かりをつけます、物を
温めるために電子レンジを使います、冬になったら暖房を入れます。夏だったら冷房です。
私達は、このように当たり前に使っている電気をもっと意識しながら使っていくべきだと
思います、意識をしたからといって何かが変わるわけではありません。電気を発電したり、
送電したりするのは、ただ生活している私達ではなく、電気スペシャリスト達なのだから。
ですが、少しでもその人達に、電気感謝を伝える意味も込めて、もっと電気を意識して、
ありがたみをもって生活するべきだと私は考えます。